

平成 24 年 1 月 4 日

試験は廃止になりましたが

北海道久遠郡せたな町

佐々木 朗 JH8CBH

国際的にアマチュア無線以外でのモールズ通信がほとんどなくなってから久しい年月が経ち、2011 年には、アマチュア無線技士の試験においても、モールズ通信の実技試験が廃止された。第 3 級では形式上、符号を問う問題もあるそうだが、実技とはかけ離れていることは確かである。

モールズ通信は、電話通信に比べると情報量もとても少なく、意思疎通も難しい。それにもかかわらず、CQ誌でもモールズ通信の特集が組まれるなどその魅力は非常に大きいと思う。

モールズ通信の優れているところとして、①しゃべらなくていい。口べたな方、余計なことをしゃべりたくない方には、向いている。

②パイルアップに強い。たくさんの方に一度に呼ばれても、トーンがちょっとずれているだけで、明確に符号を聞き分けることができる。

③小電力で楽しめる。符号なので、非常に弱い信号だったとしても、聞き取ることができる。また、送信機がシンプルであり、自作にも向いている。

④交信が短い。この 10 年位で、レポートの交換の交信が大半を占めるようになった。住所は JCC、JCG 番号で送り、名前やリグなどの交換はしない。あっけなくもあるが、移動サービスなど、多くの局と交信するには適している。

⑤符号で交信できる。外国局とも英語を使わなくとも、Q符号などで、簡単に交信することができる。

覚えて、自由にモールズを操ることができるまでには、けっこうな努力がいるものであることは確かではあるが、年頭のこの時期、一踏ん張りして、モールズ習得に力を出してみませんかとお誘いしたい。

私は 2000 年の頃から数年にわたって、年始めの 2 週間ほどを使い、モールズを覚えたい方のために、また、試験で 3 アマの合格（当時は 1 分間 25 文字程度の聞き取りテストがあった）を目指す人たちのために、144MHz の FM 波を使って、講習会を開いてきた。けっこうな数の方々が、試験を受け合格し、その中の何人かがモールズでの交信にデビューすることができた。しかしながら、受講者の減少や転勤などもあり 2006 年を最後に講習会の任を閉じた。

モールズ習得など、一朝一夕ではものにならないようなものに対してはなかなか手が出せないのも現実であろう。私は幸か不幸か、中学生の時代にモールズをたたき込まれ、高校時代にかなり鍛えられたので、習得に苦しんだという思いはあまり残っていない。この時代に覚えたことというのは不思議なもので、今となっても、ほとんど衰えることがない。

そこで、何とか意志ある方にといいことで、私のパソコンの中を探してみたところ、

講習会の全日程のサウンドファイルを見つけた。二部構成になっており、第 1 部は、符号を全く知らない方が対象。そして第 2 部は、少し上のレベルである。「モールスを覚えたいのだが、教えてくれる人がいない。」

という方には是非お勧めしたい。

尚、老婆心ながら、一人でこっそりやらないで、無線で堂々と「今、勉強中なんだわ。」と声を大きくした方が、身が入るようである。

モールス講習会（平成 17 年版）

筆者のホームページ

<http://www.edu-hakodate.jp/sasaki/>

にアクセスし、

「アマチュア無線関係」→「CW 講座（平成 17 年度）モールスを 0 から覚えようとしている方に」とお進み下さい。